


施工説明書 施工業者様用

「施工業者様へのお願い」 「取扱説明書」を添付しております。お施主様が製品を安全に正しくご使用していただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載しておりますので、必ず、お施主様に手渡していただきますようお願いいたします。

警告表示の種類と内容 弊社製品を長期間安全に使えるよう施行するために、またトラブルのない確実な施行をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。


■ シンボルマークと意味：誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

 注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---------------------------------

■ 警告図記号について：本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 「してはいけない」を示します。	 「必ずおこなっていただくこと」を示します。
---	---

安全のためにお守りください

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は屋内専用製品です。屋外や雨水が直接かかる場所へは使用しないでください。 ●本製品は「カバ」のみ床暖房の仕上げ材として使用できます。「ナラ」は床暖房の仕上げ材としてご使用できませんので、ご注意ください。 ●トイレ、脱衣所には使用しないでください。 ●高所作業車等の重機を床材の上で使用すると実が折れますので、絶対に使用しないでください。 ●大型の配膳車や100kg以上重量がある台車は使用しないでください。重量で床材表面に傷や剥がれが生じたり、実が折れたりする恐れがあります。 ●ブラシマシン等は床材表面を傷付ける場合がありますので、絶対に使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●巾木は床材施工後に取り付けてください。また、壁際の納めは、床材の伸びを吸収するため、3mm程度の隙間をあけて施工してください。 ●本製品の廃棄は各自治体の規制に基づき適切な処理をしてください。 ●施工中および施工前後は、十分に換気してください。部屋を閉め切ったままで、室内の湿度が高い状態が続きますと、結露、カビ、突き上げ、波打ち、その他の不具合の原因となります。 ●重量物を直接置いたり、重量物を積んだ台車を直接床材の上で使用すると、床材表面が傷ついたり、実が折れる場合があります。敷板等で床材を必ず保護してご使用ください。

床暖房仕様について

- 本製品は、小根太付温水マットタイプの床暖房の仕上げ材としてもご使用いただけます。

施行方法

①下地工事

- 捨て張り材は、次のいずれかとしてください。

捨て張り材の種類	厚さ	根太の仕様
合板	12 mm以上	断面 45×45 mm以上の乾燥材 (間隔 303 mm以下)
パーティクルボード	20 mm以上	
ネダレス針葉樹合板	24 mm以上	

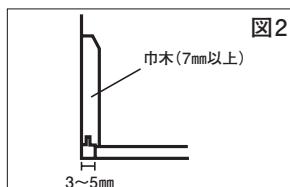
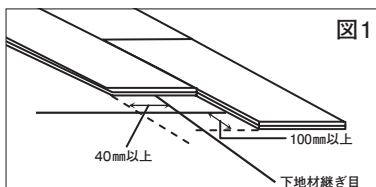
- 捨て張り材は、ビスまたは釘(間隔303mm以下)で根太・大引に固定してください。
- 捨て張り材同士の継ぎ目には、2~3mmの隙間を設けてください。
- 捨て張り材の表面は平滑になるように調整し、継ぎ目の段差がないようにしてください。
- 遮音マット、石こうボード(床下地用高密度タイプ)へ施工する場合は、木質下地へ固定できる長さの釘を使用してください。
- 二重床を施工する場合は、必ず二重床メーカーの施工仕様に従ってください。
- パーティクルボード上に床暖房パネルを施行する場合は、必ず12mm以上の合板を捨て張りしてください。

②下地施工後の確認

- 下地施工後、異常なたわみや床鳴りがいないことを確認してください。
- 下地材が乾いていることを確認してから床材を施工してください。水分を多く含んでいると、シミやふくれの原因となります。(含水率14%以下)
- 下地材表面を清掃してください。異物が残った場合、床鳴りの原因となります。
- 床暖房パネルを施工した際には、仕上げ材を施工する前に、床暖房システムが正常に作動することを確認してください。

③割り付け

- 施工前に製品を仮並べし全体の色、空のバランスを確認してください。
- 下地材の継ぎ手と床材は(図1)のように40mm以上離れるように割り付けてください。
- 張り方は床材の短辺部のジョイントが隣同士で揃わないようにしてください。(尺または1.5尺ずらしをおすすめします。)床暖房パネルへの施工の場合、短辺部のジョイントは必ず釘打ち可能な箇所で行ってください。
- 巾木の下で壁と床材の間には必ず3~5mmの隙間をあげてください。(図2)



④施工

- 下地への固定は、次の釘および接着剤を併用してください。その他の釘や接着剤を使用したり、釘のみで固定した場合、床鳴りや目隙の原因となります。

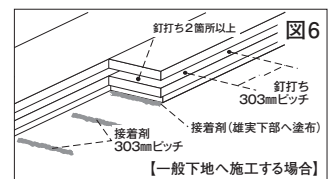
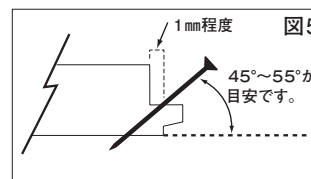
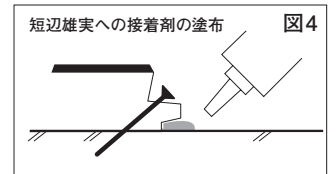
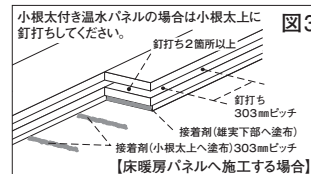
釘	<ul style="list-style-type: none"> ●スクリューネイル 38 mm ●フロアーステップル 38 mm (肩幅 4 mm以上)
接着剤	<ul style="list-style-type: none"> ●捨て張り工法用ボンド 「DK接着剤ECO」、「DK接着剤ECO簡単ふきとりタイプ」

【床暖房パネルへ施工する場合】(床暖房用仕上げ材として使用する場合)

- 接着剤はノズル口径を8φにカットし、303mmピッチで小根太上に線状に塗布してください。また、製品短辺雄実部(図3、4)にも必ず塗布してください。
- 釘の打ち込み位置は図3の通りフロアー長辺雄実部に303mmピッチ、短辺雄実部に2箇所以上(製品巾145mm未満の製品は1箇所以上)釘打ちしてください。また、釘頭を目立ち難くするために、雄実付け根から約1mm程度あけて釘打ちを行ってください。(フローリング用ステップルの場合も同じです。)(図5)

【一般地下へ施工する場合】

- 接着剤はノズル口径を8φにカットし、303mmピッチで線状に塗布してください。また、製品短辺雄実部(図4、6)にも必ず塗布してください。
- 釘の打ち込み位置は図6の通りフロアー長辺雄実部に303mmピッチ、短辺雄実部に2箇所以上(製品巾145mm未満の製品は1箇所以上)釘打ちしてください。また、釘頭を目立ち難くするために、雄実付け根から約1mm程度あけて釘打ちを行ってください。(フローリング用ステップルの場合も同じです。)(図5)



⑤養生方法

- 施工後は、傷防止のために必ず養生し、床材表面を保護してください。弊社の養生ボード、専用テープの併用をおすすめします。
- 布製ガムテープや広巾クラフトテープ等は粘着力が強く、床材表面を損傷する恐れがありますので使用しないでください。養生テープをはがす場合は、ゆっくりとはがしてください。急激にはがすと床材表面が損傷するおそれがあります。

必ず美装業者様へお渡しください。

- ワックスは被膜の強いタイプの木床用水性樹脂ワックスをご使用ください（リンレイ(株)パーモR-1等）。
使用されるワックスについてはワックスメーカーに標準作業を事前確認の上、必ず目立たない場所で試し塗り確認して、塗布するようにしてください。
- ワックス以外の厚塗り表面コート材は、床鳴りなどの不具合が発生するおそれがあります。

美装作業上のお願い

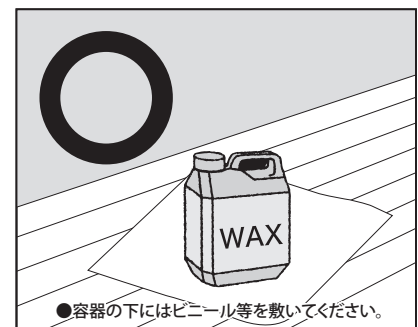
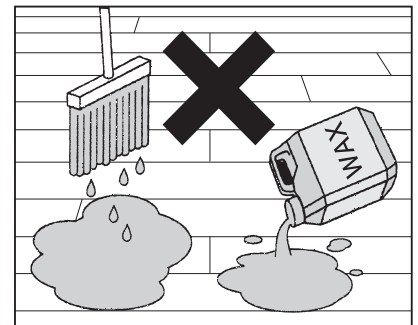


- 床面をきれいに清掃し、十分に乾燥させてください。
清掃時に多量の水を使用しないでください。
床材に過剰な水分が加わりますと、床材の波打ち、突き上げやふくれ、変色、床鳴りなどの原因となります。
- 汚れのひどい場所は、固く絞ったきれいな布をご使用ください。
- 固く絞ったモップや雑巾で拭いてください。また、汚れた水や雑巾などを使い続けしないでください。
汚れを塗り広げることになり、乾燥後に拭きムラとなって、かえって汚れが目立つ場合があります。
- 洗浄液やワックス剥離剤を使用する場合は、使用上の希釈率を守り、目立たない部分で確認してご使用ください。
また洗浄液やワックス剥離剤を床材表面に多量にまき散らすと、目地部のふくれや床鳴りなどの原因となります。
洗浄液に浸した布を固く絞り、床材の表面を目地に沿って丁寧に拭いてください。
- 作業後は、洗浄液が床面に残らないよう十分に拭き取ってください。
床材表面の洗浄液が乾かないうちに、きれいな水を含ませ固く絞った布で2回以上拭き取ってください。
- スチームモップは使用しないでください。床材は熱や蒸気に弱いため、ふくれたり変色するおそれがあります。
メラミンスポンジ、ブラシマシンなども、床材表面を傷付ける原因となりますので使用しないでください。

ワックス掛けをおこなう場合



- ワックス掛けは天気の良い日を選び、窓を開けて風通しをよくしてください。
- 室内温度が5℃以下の場合や、雨天で湿度が極端に高い時は避けてください。
白化や密着不良などの不具合の原因となります。
- 床材表面、目地のゴミやホコリを取り除きます。
- 床材表面、目地部を完全に乾かしてから、ワックスを塗布します。
- ワックスを洗面器などに移し、きれいな布に含ませ、しずくが落ちない程度に絞ってから塗布します。
目地にたまらないよう、薄くのばすようにムラなく塗布してください。
- ワックスは床材の上に直接流さないでください。
ワックスを床材表面に多量にまき散らすと、塗布ムラや硬化不良、床材目地部分の変色やふくれ、床鳴りなどの原因となります。
- 容器の下には、必ずビニールなどを敷いてください。
- ワックスが完全に乾くまで自然乾燥してください（60分程度）。
ワックスが完全に乾くまでは、上を歩かないでください。



警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取扱いについて、内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

- シンボルマークと意味：誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

⚠ 注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 警告図記号について：本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

⊘ 「してはいけない」を示します。

! 「必ずおこなっていただくこと」を示します。

お手入れ方法・
使用上のご注意



▲詳しくはこちら

安全のためにお守りください

⚠ 注意

- 本製品は屋内専用製品です。屋外や雨水が直接かかる場所へは使用しないでください。
 - 「ナラ」は床暖房の仕上げ材としてご使用できませんので、ご注意ください。（「カバ」は床暖房の仕上げ材として使用できます。）
 - 大型の配膳車や100kg以上重量がある台車は使用しないでください。重量で床材表面に傷や剥がれが生じたり、実が折れたりする恐れがあります。
 - キャスター付きのいすや家具は、床材表面を損傷させるおそれがありますので、直接使用しないでください。使用される場合はカーベットを部分敷きするなど、必ず床材表面を保護してください。金属製キャスターや球状キャスターの使用はお控えください。
 - ブラシマシ等床材表面を傷付ける場合がありますので、絶対に使用しないでください。
 - スチームモップは、床を傷めますので使用しないでください。
 - 清掃にメラミンスポンジを使用しないでください。表面にくもりが発生する場合があります。
-
- ピアノ等の重量物を置く場所には、重量を分散させるために脚部の床上に敷板を必ず置き、移動する場合には必ず持ち上げて移動させてください。
 - テーブルや椅子を引きずると、床材表面が損傷する恐れがあります。足先にフェルト等を付けて床材表面を保護してください。（ゴムキャップは種類により床材表面を汚染させるものがありますのでご注意ください。）
 - 屋外、トイレ、厨房に通じる出入り口や自動販売機など床材を汚す原因が付近にある場合には必ず境界にマットを敷き、水や汚れ、砂、ホコリの持ち込みを防止してください。
 - 床材表面に砂ほこりなどがある状態で掃除機などを使用すると、走行時にすり傷を付ける場合があります。事前にほうきなどで取り除いてご使用ください。
 - 屋外でご使用になった車椅子を乗り入ると、付着した土砂のため、床表面に傷が付くことがあります。付着した土砂はよく払ってください。
 - 床材を長時間濡れたまま放置すると、シミやひび割れ、変色、膨れ、剥離等の原因となります。また、表面が濡れていると滑りやすく、転倒の恐れがあり危険です。速やかに拭き取ってください。
 - 水が飛び散る恐れのある場所では水濡れおよび転倒防止、床面の汚れ防止のためマットを敷いて表面を保護してください。
 - マットの材質によっては床表面が変色する恐れがあり、特に白色・淡色床材では目立つことがありますので、マットの注意書きをご確認ください。時折敷物下の状態をご確認いただき、汚れがある場合は清掃してください。
 - 各種薬品やアルカリ性洗剤、灯油等をこぼすと変色する恐れがあります。速やかに拭き取ってください。

末永くご使用いただくための注意事項

- 壁際に高さのある家具を置く場合は、転倒防止用の器具などを使用し、壁に固定することをおすすめします。
- 床材表面の汚れは速やかに拭き取ってください。床材表面に汚れが付着するとシミの原因となる恐れがあります。
- お手入れは次の方法でおこなってください。

日常のお手入れをするとき	→ 乾いた雑巾で拭く
汚れがひどいとき	→ 固く絞った雑巾で拭く
上記の方法でも汚れが落ちないとき	→ 中性洗剤(※)を含ませて固く絞った雑巾で拭く

※使用する場合は、メーカーの使用方法に従ってください。

- 化学ぞうきんはドライタイプの商品をおすすめします。ウェットタイプの商品は、商品の使用上の注意を十分に読み以下についてご注意の上、ご使用ください。
 - ◆ ご注意いただきたいこと
 - ・床材の切れ端やカットサンプル、または床の目立たない場所等でお試しいただき、問題がないことを確認してからご使用ください。
 - ・化学ぞうきんに含まれる成分の影響で製品本来の性能が発揮されなくなる場合がございます。
 - ・水漏れ箇所、ワックスがけの直前、直後には絶対に使用しないでください。ワックスが白くなったり、床材が変色する可能性があります。
 - ・床の上に長時間放置しないでください。床材が変色する恐れがあります。
- 化学ぞうきんの繊維が目地部分に引っかかり、付着し目立つ場合があります。

- ワックスは被膜の強いタイプの木床用水性樹脂ワックスをご使用ください（リンレイ(株)パーモR-1等）。使用されるワックスについてはワックスメーカーに標準作業を事前確認の上、必ず目立たない場所で試し塗り確認してから、塗布するようにしてください。

ご理解いただきたいこと

- 人がよく行き来する箇所では、歩行によって発生する微小な傷により表面にくもりが発生する場合があります。
- 天然木化粧フロアの場合は太陽光や照明などの光の影響により表面単板の色が変化したり(変色)、色あせたり(退色)します。特に直射日光のあたる箇所では変色・退色が早まるため、直射日光が長時間当たりやすい場所はカーテン等でできるだけ直射日光を遮ってください。
※天然木単板の変色・退色は一般的な現象であり、床材のご使用上支障はございません。
- 万一、火のついたタバコを床面に落とした場合は、即座に取り除いてください。こげ跡がつくと取れなくなります。また、タバコのヤニはアルコールを染み込ませた布で拭き取ってください。

<木の伸縮に伴う硬象>

- 木質製品の特性として、空気中の湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥してくると湿気を放出して縮みます。これに伴い、反りや突き上げ、波打ち、目隙などが生じる場合がありますが、木質製品の特性上、ある程度やむを得ない現象ですので、ご理解ください。
特に床暖房使用時には目隙が生じやすくなりますが、使用しなくなると徐々に隙間が小さくなります。

<床鳴り>

- 音の程度にもよりますが、床材の継ぎ目部分が擦れて音が発生していることが考えられます。木材の収縮に伴う鳴りは、ある程度やむを得ない現象の一つですので、ご理解ください。

<暖房器具の使用>

- 木質床材では、暖房器具の加熱による乾燥で木材が収縮し、若干の隙間が発生することがあります。加湿器などで適度な湿気を補うようにしてください。

<色調>

- 床材表面は天然木を使用していますので、1枚ずつ木目や色調が異なり、全く同じ化粧の製品とはなっていません。また、入り皮や節目、不規則な色合いも個性の一つであり、天然木の特徴でもあります。

DAIKEN製品の品質保証について		免責事項:製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。
対象製品	ユカフィット(捨張工法用)	(1) 建物の設計・施工に起因する不具合 (2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合 (3) 自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合 (4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キンミ音などの不具合 (5) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合 (6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合 (7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理等に起因する不具合 (8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合 (9) 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褐色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合 (10) 用途外に使用された場合の故障および損害(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等) (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合 (12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合 (13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合 (14) 製造時に実用化されていた技術では予想することが不可能な事象に起因する場合 (15) 離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費 (16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合 ※1 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境
保証事項	外観上の著しい変形・変質が生じないこと 弊社指定の施工場所に弊社の施工方法・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、上記事項を保証します。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。 ※床衝撃音遮断性能は保証の対象外です。なお、床衝撃音遮断性能は一定の条件下測定された数値であり、施工現場または居住後における性能を保証するものではありません。(原則、新品交換は含みません)	
保証箇所	基材、表面	
保証対象となる不具合現象	変形、変質(ハガレ、中層ハクリ)	
保証期間	施工完了後より2年間 ※保証期間とは、弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で処置する期間としております。 保証期間を経過したものは有料となります。	

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録サービス

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから <http://www.daiken.jp/user/>

DAIKEN株式会社

<http://www.daiken.jp/>

製品のお問い合わせはお客様センターへ

☎0120-787-505

受付時間:平日9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆は休み)